

「研究者から見た機関リポジトリ」

日 時: 2017 年 8 月 24 日(木)

15:20～16:20

場 所: 国立情報学研究所
20 階実習室

東京家政大学

家政学部 栄養学科

教授 森田幸雄

moritay@tokyo-kasei.ac.jp



自己紹介

森田 幸雄 東京家政大学 食品衛生学第二研究室

1979-1985 日本大学 獣医学科・博士前期課程

1994 博士(獣医学) 日本大学より

“豚の非定型抗酸菌症に関する研究”



職歴:

1985-2008 群馬県職員

1985-1993 中央食肉衛生検査所…対米国牛肉輸出を開始

1994-1996 館林保健所……………多数の大規模食品工場が管内にあり

1997-1999 中央食肉衛生検査所…対米国牛肉輸出担当獣医師の一人として
HACCPを導入

2000-2003 衛生環境研究所

2004 新政策課

2005-2008 衛生環境研究所

2009- 東京家政大学 准教授

2013- // 教授

外部研究資金にて研究を実施中…

委員等

1. 2009/09～ 日本食品微生物学会 編集委員
2. 2009/09～ 飛騨ミート農業協同組合連合会 HACCP委員
3. 2013/04～ 日本獣医学会 評議委員
4. 2013/06～ 公益社団法人 全国食肉学校 非常勤理事
5. 2014/10/31～2018/10/30
群馬県健康福祉部長より
群馬県食品安全審議会 審議委員
6. 2015/06～ 日本獣医師会雑誌学術誌 編集委員
7. 2015/07/06～ 公益財団法人日本食肉生産技術開発センター 食肉処理施設の高度化計画及び高度化基盤整備計画の認定に係る審査委員
8. 2015/08/01～ 日本HACCPトレーニングセンター 理事
9. 2016/04/01～ スターゼン(株) 衛生管理アドバイザー
10. 2017/01/25～2019/01/24
薬事・食品衛生審議会専門委員 厚生労働大臣より
(2017年01月27日付 動物用医薬品再評価調査会)
11. 2017/03～ 日本ジビエ振興協会 副理事長
12. 2017/04/01～2018/03/31
静岡県健康福祉部長より
静岡県H29年度食中毒防止対策専門委員会委員

厚生労働科学研究

平成18—20年度

「輸入食品における食中毒菌サーベイランス及びモニタリングシステム構築に関する研究」(分担研究者)

平成21—23年度

「輸入食品の食中毒菌モニタリングプラン策定手法に関する研究」(分担研究者)

平成24—26年度

「と畜・食鳥検査における疾病診断の標準化とカンピロバクター等の制御に関する研究」(分担研究者)

平成27—29年度

「食鳥肉におけるカンピロバクター汚染のリスク管理に関する研究」(分担研究者)

平成29—(31)年度

「食品を介する家畜・家禽疾病のリスク管理に関する研究」(分担研究者)

文部科学省

平成23—25年度

科学研究費補助金(基盤研究(C))「輸入魚介類における多剤耐性菌等の汚染状況」

東和食品研究振興会(平成26年度)

冷凍エビからのサルモネラ保菌状況と分離菌の性状」

私の考え

論文: 複数の審査員の査読あり⇒自分の主張だけでは掲載にならない

研究者として最も評価されるもの⇒最大の情報公開




掲載に際してお金の支払いが多い

(所属学会員なら規定ページまで無料、追加したらお金の支払いあり)⇒その紙面を購入
国際誌ならImpact Factorがある⇒どのくらい他の論文に引用されたかという論文評価

印刷中および掲載論文 (2017年: H29年08月14日現在)

1. 藤田雅弘, 遠藤健太郎, 塩野雅孝, 森田幸雄, 朝倉 宏, 山本茂貴, 2016年12月, 食鳥処理場におけるカンピロバクター交差汚染状況, 日本食品微生物学雑誌, 33(4), 182-186.
2. 森田幸雄, 小林光士, 2016年11月, 我が国の食肉・食鳥肉の衛生状況, 日本獣医師会雑誌, 69 (11), 695-701.
3. Kobayashi M, Matsushima Y, Motoya T, Sakon N, Shigemoto N, Okamoto-Nakagawa R, Nishimura K, Yamashita Y, Kuroda M, Saruki N, Ryo A, Saraya T, Morita Y, Shirabe K, Ishikawa M, Takahashi T, Shinomiya H, Okabe N, Nagasawa K, Suzuki Y, Katayama K, Kimura H, 2016年7月, Molecular evolution of the capsid gene in human norovirus genogroup II. Sci Rep. 2016 Jul 7;6:29400. doi: 10.1038/srep29400. IF 4.259
4. Tanno S, Fukui N, Utaka Y, Itabashi Y, Morita Y, Boonmar S, 2016年10月, Quantitative method for detecting *Staphylococcus aureus* using the Bio-Theta DOX™ system, Thai Journal of Veterinary Medicine, 46(3) : 473-481. IF 0.209
5. Fukui N, Tanno S, Utaka Y, Itabashi Y, Morita Y, 2016年8月, Quantitative method for detecting *Salmonella* species using the Bio-Theta DOX™ system, Journal of Japan Association of Food Preservation Science, 42(4):165-172.

PubMedは米国国立医学図書館が無料で提供するデータベース
どこでも検索可能 論文だけでなく遺伝子情報等多くのデータベース保有

- ☐ [Molecular evolution of the capsid gene in human norovirus genogroup II.](#)
 1. Kobayashi M, Matsushima Y, Motoya T, Sakon N, Shigemoto N, Okamoto-Nakagawa R, Nishimura K, Yamashita Y, Kuroda M, Saruki N, Ryo A, Saraya T, **Morita Y**, Shirabe K, Ishikawa M, Takahashi T, Shinomiya H, Okabe N, Nagasawa K, Suzuki Y, Katayama K, **Kimura H**.
Sci Rep. 2016 Jul 7;6:29400. doi: 10.1038/srep29400.
PMID: 27384324 **Free PMC Article** 
[Similar articles](#)
- ☐ [A food-borne outbreak of gastroenteritis due to genotype G1P\[8\] rotavirus among adolescents in Japan.](#)
 2. Mizukoshi F, Kuroda M, Tsukagoshi H, Sekizuka T, Funatogawa K, **Morita Y**, Noda M, Katayama K, **Kimura H**.
Microbiol Immunol. 2014 Sep;58(9):536-9. doi: 10.1111/1348-0421.12176.
PMID: 25040046 **Free Article** 
[Similar articles](#)
- ☐ [Triplex real-time polymerase chain reaction assay for detection and quantification of norovirus \(GI and GII\) and sapovirus.](#)
 3. Niwa S, Tsukagoshi H, Ishioka T, Sasaki Y, Yoshizumi M, **Morita Y**, **Kimura H**, Kozawa K.
Microbiol Immunol. 2014 Jan;58(1):68-71. doi: 10.1111/1348-0421.12107.
PMID: 24117901 **Free Article** 
[Similar articles](#)
- ☐ [Salmonella prevalence in meat at retail markets in Pakse, Champasak Province, Laos, and antimicrobial susceptibility of isolates.](#)
 4. Boonmar S, **Morita Y**, Pulsrikarn C, Chaichana P, Pornruagwong S, Chaunchom S, Sychanh T, Khounsy T, Sisavath D, Yamamoto S, Sato H, Ishioka T, Noda M, Kozawa K, **Kimura H**.
J Glob Antimicrob Resist. 2013 Sep;1(3):157-161. doi: 10.1016/j.jgar.2013.05.001. Epub 2013 Jul 5.
PMID: 27873626
[Similar articles](#)

私の考え

著書：査読は無い。編集者が責任をもってチェック⇒ある程度の自己主張ができる
研究者としてはほとんど評価されない⇒研究者？専門家としての義務
掲載し、販売部数に応じて執筆料が支払われる

著書（2017年：H29年08月14日現在）

1. 森田幸雄，2017年*月発行，実用ポケット辞典，幸書房，（最終校正中）
2. 森田幸雄，2016年3月発行，第4章4.1食中毒の概要、4.2食中毒の発生状況、4.3微生物による食中毒、4.4人獣共通感染症 P47-98、第9章衛生行政と関連法規 9.3HACCPの普及 P222-225、図解、食品衛生学第5版食べ物の健康、食の安全性、257、(株)講談社 ISBN978-4-06-139844-3
3. 森田幸雄，2014年10月発行，1-7培養法 p57-58，5病原微生物 p367-379，食品危害要因物質・その実態と検出法，544，(株)テクノシステム
ISBN:978-4-924728-71-4
4. 森田幸雄，2014年4月発行，第4章 3 抗酸菌による人獣共通感染症 p 105-108，獣医公衆衛生学Ⅱ，322，文永堂
ISBN:978-4-8300-3251-6
5. 森田幸雄，2014年3月発行，第1章 食品衛生と法規 p01-12，食品安全・衛生学，251，学文社
ISBN:978-4-7620-2452-8
6. 森田幸雄，2014年1月，Section 1食肉の流通 p 4-11，Section 4 食肉の安全・安心 p 46-63，食肉のすべてがわかる Q&A，教えて！食肉の流通・加工，63，公益財団法人日本食肉消費総合センター
7. 森田幸雄，2013年9月，Chapter 8 微生物性食中毒 p 98-112，食品微生物の基礎，183，講談社
ISBN978-4-06-139838-2

私の考え

専門雑誌：査読があるものもあり。依頼原稿は通常査読は無い。編集者がチェック⇒自己主張ができる

研究者としてはほとんど評価されない⇒研究者？専門家としての義務
掲載について執筆料が支払われる

専門雑誌（2017年：H29年08月14日現在）

1. 森田幸雄，2017年10月，ジビエの衛生管理，食と健康，**(*)，***-***（執筆中）。
2. 森田幸雄，木村博一，2017年10月，ノロウイルス制御とHACCP，感染制御と予防衛生，1(1)，**-**（査読中）。
3. 木村博一，長澤耕男，森田幸雄，吉住あゆみ，水越文徳，藤田清貴，2017年10月，ヒトノロウイルス感染症の疫学・分子疫学に関する最新の知見，感染制御と予防衛生，1(1)，**-**。（印刷中）
4. 森田幸雄，加藤千晶，2017年7月，食品表示の今昔，月間フードケミカル，33(7)，118-123。
5. 森田幸雄，2017年5月，食肉処理施設におけるHACCP導入による輸出促進の後押し－ハード面の施設とソフト面の構築の重要性－，畜産コンサルタント，53(5)，42-47。
6. 森田幸雄，2016年10月，食肉処理施設（と畜場、食肉処理場）における衛生管理－将来を見据えるとHACCP導入が必然へ－，畜産コンサルタント，52(10) 24-27。

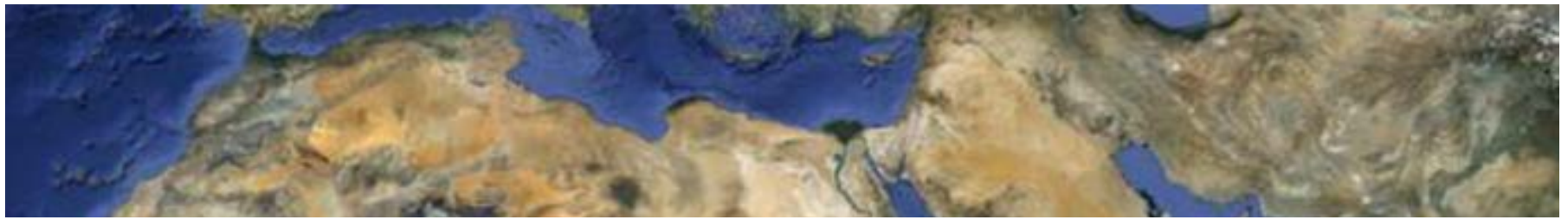
今までお話した情報はすべてインターネット上で公開されています。

これからお話することは公開をされていないものもあります。





Sep, 2008,
ChangRai,
Thailand.



「ウガンダ共和国 家畜疾病診断・管理体制強化計画プロジェクト」



ウガンダ・カンパ
マケレレ大学



独立行政法人 国際協力機構

ウガンダ:2011年8月8日～9月2日



食肉検査指導

私の専門

「食肉衛生」・・・ HACCP、 ジビエ、 ハラルなど

「食中毒・感染症」………… カンピロバクター、サルモネラ、
狂犬病、ノロウイルスなど

私は研究者としては二流です。

しかし、大学卒業後の24年間の行政経験＋8年間の大学経験が私の大学教授としての糧です。

多くの友人が世界中にいます＝インターネットの普及

インターネットの普及によって情報（特に公表論文等のタイトル）は無料で検索が可能。

ただ、著作権等々があり、内容を見るにはお金を支払うことが、論文・学術雑誌を出版する会社が求める場合があります。

機関リポジトリしていただければ、私はとても助かります。

Googleで「森田幸雄 東京家政大学」での検索結果

森田 幸雄（モリタ ユキオ） - 東京家政大学 研究者情報データベース

tk-kenkyugyoseki.tokyo-kasei.ac.jp/tkuhp/KgApp?kyoinId=ymdggoooggy ▼

（最終更新日：2017-08-02 10:48:20）. モリタ ユキオ morita yukio 森田 幸雄. 所属 東京家政大学 家政学部 栄養学科; 東京家政大学短期大学部 短期大学部 栄養科; 東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 健康栄養学専攻; 東京家政大学大学院 人間 ...

教員の紹介 - 東京家政大学

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp> > 大学院 > 研究科・専攻 > 健康栄養学専攻 ▼

森田 幸雄 教授. HACCP特論; 今日、食中毒細菌による死亡事例や薬剤耐性菌の出現の問題などがあります。食の安全を理解し、正しい対策を実践しましょう。食品由来感染症の分子疫学的解析、発展途上国の食品衛生状況調査; 「食の安全性に対する必要 ...

教員からのメッセージ：栄養学科・栄養科 - 東京家政大学

www.tokyo-kasei.ac.jp/college/tabid/282/index.php ▼

森田 幸雄. (1) 食品衛生学、食品微生物学 (2) 食品は毎日食べる身近なもの。食品の安全を科学し、安心を考えよう。何事も自分で考えることが重要です。(3) 実社会で必要とされる衛生レベルを理解し、実行できる人材を育成します。(4) 大量の食品を外国 ...

森田 幸雄 - 研究者 - researchmap

researchmap.jp/read0125932/ ▼

2015/03/19 - 森田 幸雄 - ... 研究者氏名: 森田 幸雄. モリタ ユキオ. 所属: 東京家政大学. 部署: 家政学部 栄養学科 東京家政大学 家政学部 栄養学科. 職名: ... 受賞者: 遠藤健太郎、水谷昌代、杉田裕子、藤田雅弘、渡 昭博、松田錦弥、小畑 敏、森田幸雄.

「森田幸雄」のプロフィール | Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/public/森田幸雄> ▼

「森田幸雄」という名前の人のプロフィールを表示Facebookに参加して、森田幸雄さんや他の知り合いと交流しましょう。Facebookは、人々が簡単に情報をシェアできる、オープン ... 森田 幸雄. 勤務先: 東京家政大学・東京都 北区在住. 日本大学 獣医学 ('85年 ...

【研究者データ】森田幸雄 | 日本の研究.com

<https://research-er.jp/researchers/view/122226> ▼

東京家政大学 家政学部(2015年度) 推定関連キーワード:カンピロバクター,食肉センター,食肉衛生検査,食鳥処理場,と畜検査 推定分野:畜産・獣医学,水産学.

森田 幸雄

[マイポータル](#)

researchmapサービスは、
国立研究開発法人科学
技術振興機構知識基盤
情報部が提供

researchmapシステムは、
国立情報学研究所社会
共有知研究センターに
おいて研究開発・提供

森田 幸雄



更新日: 17/08/08 14:48



研究者氏名

森田 幸雄

モリタ ユキオ

所属

[東京家政大学](#)

部署

家政学部 栄養学科 東京家政大学 家政
学部 栄養学科

職名

教授

学位

博士(獣医学) (日本大学)

研究キーワード

[食品衛生学\(55\)](#) , [獣医公衆衛生\(3\)](#) , [人畜共通感染症\(9\)](#)

研究分野

- 社会医学 / [衛生学](#) /
- 畜産学・獣医学 / [応用獣医学](#) /

経歴

[テキストで表示](#)

1985年4月 - 2009年3月 群馬県職員（群馬県中央食肉衛生検査所、館林保健所、群馬県衛生
環境研究所）

2009年4月 東京家政大学 食品衛生学第二研究室

私が思っていること

大学教員は(専門の)情報公開を実施するのは
“あたりまえ”

情報公開したものが論文・専門誌・雑誌・新聞
↑ 評価

積極的に機関リポジトリをしていただければ、多くの情報を公開でき、入手できる

「情報(仕事・人)は公開しているところに集まってきます」